



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

少子化対策としての  
幼児教育無償化について

Q 幼児教育・保育の無償化制度を有効に利用し、就業する主婦が増えるには、安全で安心な預けられる施設があることが前提となる。本市の子育て支援策としてどのように対応していくのか、伺いたい。

A 一こども福祉部長

第2次佐野市総合計画において、安心して子育てのできるまちづくりは、政策の一つとなっており、安心で安全な保育施設の充実が定住人口の確保につながるものと考え、保護者が安心して子供を預けられる環境整備に努めています。

公立保育園については、統合を進め、集中と集約化により機能を強化し、民間保育施設等については、保育サービスの充実に協力をいただきながら、子育て世代のニーズに応えるべく努めています。

その他の質問  
☆選挙の投票率をアップさせる取り組みについて  
☆佐野市運動部活動の在り方に関する方針について



▲2018年に開園したあさぐま保育園



金子 保利 議員

道路に関する要望書の  
優先順位について

Q 道路整備の優先順位評価基準の策定についての調査結果は検討されたのか。また、市民に対する説明責任として、せめて5年を経過した道路整備要望に対しては、経過等を文書で知らせるべきと考えますが、当局の考えを伺いたい。

A 都市建設部長

優先順位評価基準の調査研究については、近隣市の状況を確認したところですが、地域ごとの土地利用の状況や優先順位評価を行うことで、道路整備の地域間の格差が生じないかなど、今後も他市の状況を調査するとともに、引き続き調査研究を行いたいと考えています。

年数を経過した要望に文書等でお知らせすることについては、透明性の高い道路整備を進める上で有効であると認識していますので、優先順位評価基準の策定に合わせた今後の研究課題としてと考えています。

その他の質問  
☆佐野市の社会資本の整備と維持管理について



若田部 治彦 議員(公明党議員会)

敬老会の今後の在り方  
について

Q 敬老会は毎年対象者が増加傾向となっており、各町会の役員や、運営委員の役員が高齢化になっている。敬老会の事業のあり方の見直しを全体的に行うかどうかと思うが、市としてはどのように考えるか。

A 教育総務部長

現在敬老会の対象者が増えて、敬老会の記念品を配布する作業が、実施団体の大きな負担になっていると伺っています。また、敬老会の式典参加者も減少傾向にあり、実施団体の方々は大変ご苦労されており、敬老会事業の見直しを求め意見も寄せられています。今後は対象年齢、開催形態など、関係団体と連携を図りながら協議を進めていかなければならないと考えています。

その他の質問  
☆清掃センターについて  
☆旧第1学校給食センター(奈良測町)跡地利用について

